

# 押入換気扇実験データ集

## 押入・クローゼット用換気システム



### ●強制加湿状態からの除湿換気効果試験 押入換気扇による換気効果を確認する。

方法：押入れの引き戸は閉めた状態で室内用加湿器を40分間連続運転後に停止させ、直後に押入換気扇を動作した場合と換気なし時の湿度変化の比較を行う。  
結果：ふすまを閉めた状態でも押入換気扇を動作する事により湿度の低下を確認した。

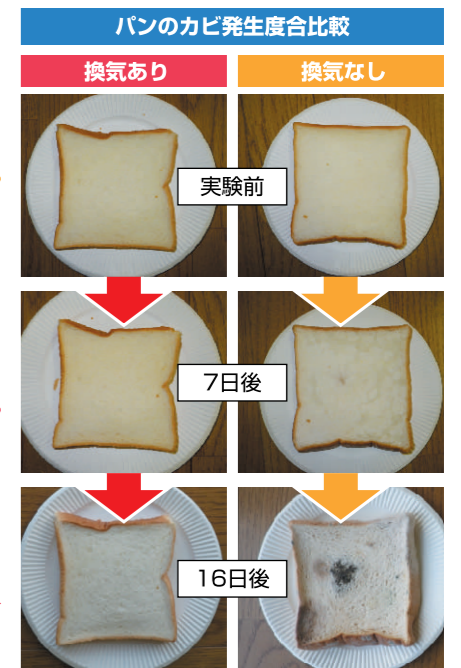
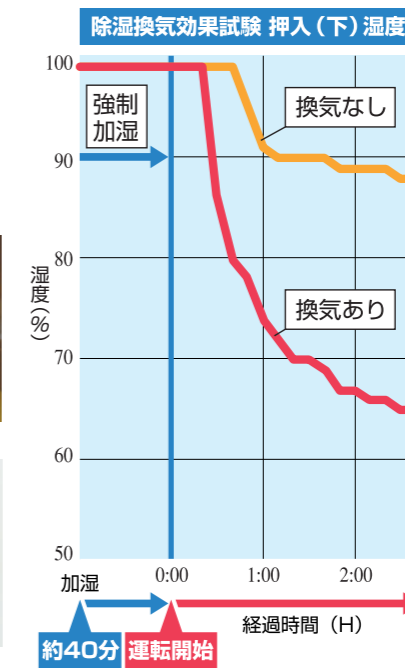
### ●換気効果によるパンのカビ発生度合比較実験

実施日：2011年7月中旬  
方法：押入れにパンを設置し、約10日間毎日パン表面に霧吹きで一定量吹きかけ、換気あり/なし時のカビの発生度合を比較する。  
結果：実験5日経過頃から換気なし時のみカビの発生を確認した。(経過写真参照)

【目的】  
押入れにて押入換気扇を設置した場合のファン動作による効果実験検証を行う。

【実験条件】  
○試験期間：2011年8月  
○実施場所：セイホーテクニカルセンターテストハウスA棟  
○測定器：ワイヤレスデータロガー  
○実験用押入れタイプ：引き戸型押入れ  
サイズW1800×D900×H1800

## 換気ありと換気なしでの比較実験データ



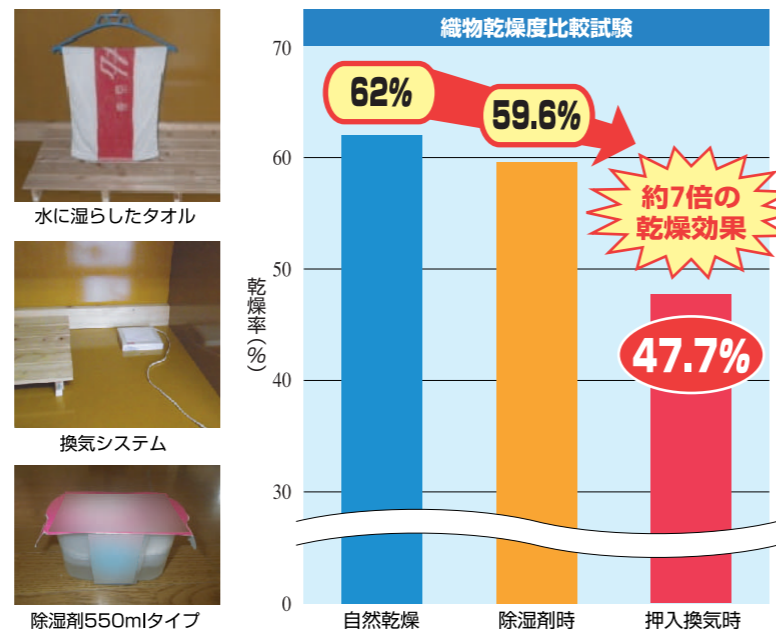
## 押入換気扇と除湿剤での比較実験データ

### ●織物乾燥度比較試験

方法：塩カル系除湿剤と押入換気扇を設置した場合の湿度及びタオルの乾燥度を比較実験検証を行う。  
(タオルは水に濡し、固く絞った状態より5時間経過後)  
結果：除湿剤では自然乾燥時の乾燥率に比べ2ポイント改善。押入換気扇を動作時は14ポイントの改善を確認した。  
※押入れ換気扇動作時は除湿剤に比べ約7倍の乾燥効果を確認。

【目的】  
塩カル系除湿剤と押入換気扇を設置した場合の湿度及びタオルの乾燥度を比較実験検証を行う。

【実験条件】  
○実施場所：セイホーテクニカルセンターテストハウスA棟  
○実験期間：2012年7月  
○測定器：電子上皿天秤 UX4200HW；島津製作所製  
○実験BOX：引き戸型押入れ、サイズW1800×D900×H1800 (0.5坪標準押入れサイズ)  
○除湿剤：550mlタイプ (上下段に各1個設置)

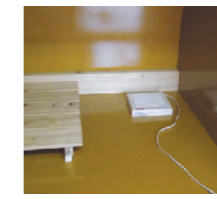
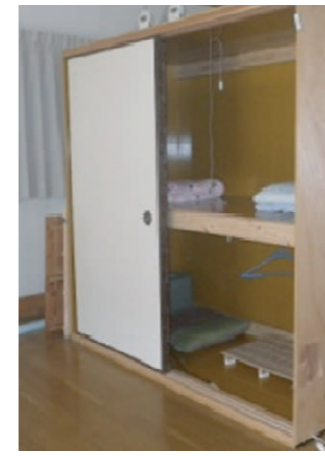
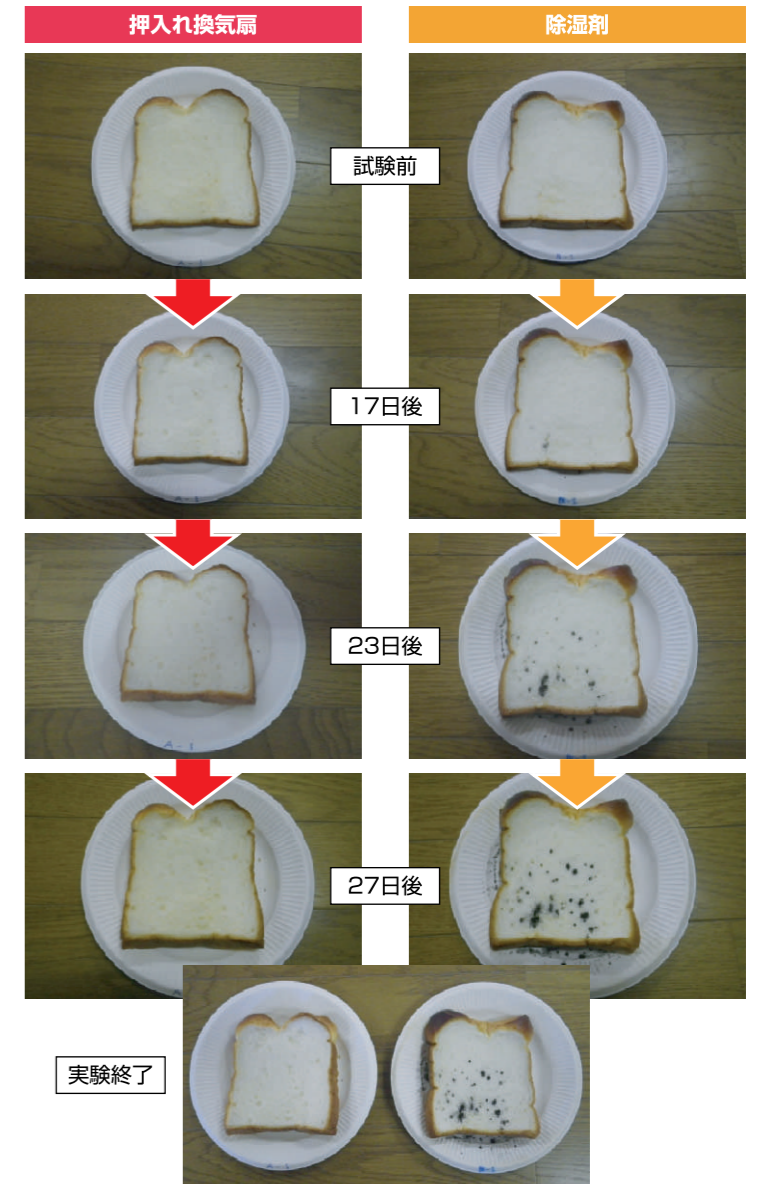


### ●パンカビ発生比較実験

方法：除湿剤と押入れ換気扇の段に各食パンを置き、1日1~2回霧吹きでパンを湿らせ、カビの発生度合を比較する。(押入れの戸は閉めた状態)  
結果：除湿剤側のパンは試験開始後17日頃からカビの発生を確認し、試験から約1ヶ月経過時点でカビ発生度合に明確な差を確認した。  
※押入れ換気ありのパンはカビ発生せず。

【目的】  
塩カル系除湿剤と押入換気扇を設置した場合のパンのカビ発生度合を比較実験

【実験条件】  
○実施場所：セイホーテクニカルセンターテストハウスA棟  
○実験期間：2012年9月  
○実験BOX：引き戸型押入れ、サイズW1800×D900×H1800 (0.5坪標準押入れサイズ)  
○除湿剤：550mlタイプ (上段に1個設置)  
○押入れ換気扇：下段に1台設置 (連続運転)



### ●湿度変化確認試験

方法：加湿器で35分間強制加湿後2時間半経過時の押入れ換気扇動作時と除湿剤設置時の押入れ内湿度を測定する。(押入れの戸は閉めた状態)  
結果：除湿剤での上下段の湿度は9.9%で変化は見られず、押入換気扇を動作時は上段8.7%下段9.0%で、1.3~1.0ポイントの除湿を確認した。

【目的】  
塩カル系除湿剤と押入換気扇を設置した場合の湿度及びタオルの乾燥度を比較実験検証を行う。

【実験条件】  
○実施場所：セイホーテクニカルセンターテストハウスA棟  
○実験期間：2012年7月  
○測定器：ワイヤレスデータロガー (温度、湿度記録計) RTR-70、72：(株) T&D製  
○実験BOX：引き戸型押入れ、サイズW1800×D900×H1800 (0.5坪標準押入れサイズ)  
○測定場所：上段中央部及び下段中央部の各湿度  
○除湿剤：550mlタイプ (上下段に各1個設置)

